公害防止

資３－１　公害防止統括者等の選任区分

種類	選任に必要な条件	資格
公害防止統括者及び代理者	常時使用する従業員の数が 21 人以上の工場	不要
公害防止主任管理者及び代理者	ばい煙発生施設及び汚水等排出施設を設置し、排出ガス量が 4 万Ｎ㎥／時以上であり、かつ排出水量が 1 万㎥／日以上の工場	大気 1,3 種かつ水質 1,3 種
公害防止管理者及び代理者	下表のとおり	下表のとおり

対象となる工場（製造業・電気供給業・ガス供給業・熱供給業）の施設及び規模等			選任する管理者の種類	有資格者の種類
大気関係	大気汚染防止法で定める有害物質を発生するばい煙発生施設を設置している工場	排出ガス量 4 万Ｎ㎥／時以上	大気 1 種	大気 1 種
		排出ガス量 4 万Ｎ㎥／時未満	大気 2 種	大気 1,2 種
	上記以外のばい煙発生施設（焼却炉を除く）を設置している工場	排出ガス量 4 万Ｎ㎥／時以上	大気 3 種	大気 1,3 種
		排出ガス量 4 万Ｎ㎥／時未満 1 万Ｎ㎥／時以上	大気 4 種	大気 1～4 種
水質関係	水質汚濁防止法で定める有害物質を排出する汚水等排出施設を設置している工場	排出水量 1 万㎥／日以上	水質 1 種	水質 1 種
	水質汚濁防止法で定める有害物質を排出する汚水等排出施設を設置している工場又は特定地下浸透水を設置している工場	排出水量 1 万㎥／日未満	水質 2 種	水質 1,2 種
	上記以外の汚水等排出施設（特定施設の大部分が含まれる）を設置している工場	排出水量 1 万㎥／日以上	水質 3 種	水質 1,3 種
		排出水量 1 万㎥／日未満 1 千㎥／日以上	水質 4 種	水質 1～4 種
騒音関係	騒音規制法の指定地域内で機械プレス（呼び加圧能力が 980 キロニュートン以上のものに限る）又は鍛造機（落下部分の重量が 1 トン以上のハンマーに限る）を設置している工場		騒音	騒音 騒音・振動
特定粉じん関係	大気汚染防止法で定める特定粉じん発生施設を設置している工場		特定粉じん	特定粉じん 大気 1～4 種
一般粉じん関係	大気汚染防止法で定める一般粉じん発生施設を設置している工場		一般粉じん	一般粉じん 特定粉じん 大気 1～4 種
振動関係	振動規制法の指定地域内で機械プレス（呼び加圧能力が 980 キロニュートン以上のものに限る）又は鍛造機（落下部分の重量が 1 トン以上のハンマーに限る）または液圧プレス（矯正プレスを除き呼び加圧能力が 2,941 キロニュートン以上のものに限る）を設置している工場		振動	振動 騒音・振動
ダイオキシン類関係	ダイオキシン類対策特別措置法で定めるダイオキシン類を発生させる施設を設置している工場		ダイオキシン類	ダイオキシン類

資３－２　公害防止統括者等の選任状況

		特定工場数	公害防止統括者	公害防止主任管理者	特定工場種別					
					大気関係	水質関係	騒音関係	振動関係	粉じん関係	ダイオキシン類関係
2021(R3)年度		55	48	7	33	25	4	8	12	1
2022(R4)年度		54	47	7	33	25	4	8	12	1
2023(R5)年度		53	47	7	32	25	4	8	14	1
2024(R6)年度		55	49	6	32	27	4	8	14	1
2025(R7)年度		56	49	6	32	28	4	8	14	1
2025(R7)年度内訳	食料品・たばこ	1	1	0	1	1	0	0	0	0
	パルプ･紙･紙加工品	2	2	1	2	2	0	0	0	0
	化学工業	10	10	2	7	9	0	0	1	0
	石油・石炭製品	1	1	1	1	1	0	0	0	0
	プラスチック製品	1	1	0	1	0	0	0	0	0
	窯業・土石製品	9	5	0	5	0	0	0	7	0
	鉄鋼業	7	7	1	3	1	2	1	5	1
	金属製品	12	9	1	3	6	2	7	1	0
	業務用機械器具	1	1	0	1	0	0	0	0	0
	電子部品･デバイス･電子回路	7	7	0	3	6	0	0	0	0
	情報通信機械器具	1	1	0	1	1	0	0	0	0
	電気供給業	4	4	0	4	1	0	0	0	0

資３－３　大気関係公害防止協定値

事業所名＼項目	締結（改正）年月	硫黄酸化物排出量 (Nm^3/h)	窒素酸化物排出量 (Nm^3/h)	窒素酸化物排出濃度 (ppm)	ばいじん排出量 (kg/h)	ばいじん排出濃度 (mg/Nm^3)
クラサスケミカル株式会社大分コンビナート及びそのグループ各社	2008(H20).9	183.4	199.0	１号ボイラー 140 ２号ボイラー 160 ガスタービン 70	35.8	１号ボイラー 35 ２号ボイラー 56 焼却炉 10～250
ＮＳスチレンモノマー㈱大分製造所	1989(H1).3	13.3	19.2	加熱炉 80	6.8	加熱炉 10～46
九州電力㈱新大分発電所	2013(H25).7	－	300	ガスタービン 8.3～12.5	－	－
ＥＮＥＯＳ㈱大分製油所	2004(H16).3	200	126.1	ボイラー 90～95 発電用ボイラー 45 加熱炉 60～150	66.2	ボイラー 5～130 発電用ボイラー 10 加熱炉 5～70
日本製鉄㈱九州製鉄所 大分地区	2022(R4).12	869.0	890.0	第１焼結炉 230 第２焼結炉 240 共火ボイラー 26～170 １～４コークス炉280～330 ５コークス炉 170	102	第１焼結炉 44 第２焼結炉 48 共火ボイラー 10～23 １～４コークス炉 10 ５コークス炉 10
㈱ジャパンセミコンダクター大分事業所及びソニーセミコンダクタマニュファクチャリング㈱大分テクノロジーセンター	2024(R6).8	0.1	1.0	－	1.4	－
王子マテリア㈱大分工場	2002(H14).11	78.1	83.9	石炭ボイラー 240 重油ボイラー 180 ディーゼル機関 600 ＲＰＦボイラー 165	19.5	石炭ボイラー 70 重油ボイラー 100 ディーゼル機関 100 ＲＰＦボイラー 30
ＴＯＴＯアクアテクノ㈱大分工場	1997(H9).7	1.3	6.7	－	16.4	－
住友化学㈱大分工場	2008(H20).9	70	43.6	ボイラー 100～180 ガスタービン 55～60 焼却炉 250～500	12.1	ボイラー 30～100 ガスタービン 20 焼却炉 80～150
大分キヤノン㈱大分事業所	2004(H16).9	－	－	ボイラー 85	－	ボイラー 10
大分キヤノンマテリアル㈱大分事業所	2006(H18).2	－	－	ボイラー 85 ガス機関発電ボイラー 200	－	ボイラー 10 ガス機関発電ボイラー 10
ＪＸ金属製錬㈱佐賀関製錬所及び日本鋳銅㈱佐賀関工場	2026(R8).3	560.0	120.3	No.2自溶炉用ドライヤ 153 ディーゼル発電機736～920	52.5	No.2自溶炉用ドライヤ 150 No.2自溶炉 50

（注１）　協定値は、年次区分等によって段階的に定められていることから、最終的な数値を掲げた。

（注２）　窒素酸化物及びばいじんの排出濃度は、主な施設を掲げた。

資３－４　水質関係公害防止協定値

事業所名		クラサスケミカル㈱ 大分コンビナート 及びそのｸﾞﾙｰﾌﾟ各社	NSｽﾁﾚﾝﾓﾉﾏｰ㈱ 大分製造所	九州電力㈱ 新大分発電所		ENEOS㈱ 大分製油所	日本製鉄㈱九州製鉄所 大分地区				㈱ｼﾞｬﾊﾟﾝｾﾐｺﾝﾀﾞｸﾀｰ 大分事業所	ｿﾆｰｾﾐｺﾝﾀﾞｸﾀ ﾏﾆｭﾌｧｸﾁｬﾘﾝｸﾞ㈱ 大分ﾃｸﾉｼﾃﾞｰｾﾝﾀｰ	王子ﾏﾃﾘｱ㈱ 大分工場	TOTOｱｸｱﾃｸﾉ㈱ 大分工場	住友化学㈱ 大分工場	大分液化ｶﾞｽ 共同備蓄㈱	JX金属製錬㈱ 佐賀関製錬所　及び 日本鋳銅㈱佐賀関工場
締結（改正）年月		2008(H20).9	1989(H1).3	2013(H25).7		2004(H16).3	2022(R4).12				2024(R6).8		2002(H14).11	1997(H9).7	2008(H20).9	1985(S60).4	2026(R8).3
排水口				1･2号系列	3号系列		4号	5号	6号	9号	No.1 排水口						
排水基準	水素イオン濃度	6.0～8.6	6.0～8.6	5.8～8.6	5.8～8.6	6.0～8.6	7.0～8.6	7.0～8.6	7.5～8.6	7.0～8.6	5.8～8.6		5.8～8.6	5.8～8.6	5.8～8.6	5.8～8.6	6.0～8.4
	化学的酸素要求量 (mg/ℓ)	6(3)	15(10)	10(7)	10(6)	15(10)	10	5	5	10	6(3.5)		75	15(10)	45(40)	10	6(3)
	生物化学的酸素要求量 (mg/ℓ)										6(3.5)		70	15(10)	20(15)		
	浮遊物質量 (mg/ℓ)	3号　8 その他　8(4)	15(11)	10(7)	10(7)	15(10)	20	8	5	20	9(4.5)		35	15(10)	25(20)	20	15(10)
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/ℓ)	0.5	1	1	1	1	1						1（鉱油類）		0.5	1	1
	フェノール類含有量 (mg/ℓ)	0.03	0.5(0.2)			0.1	0.05						0.4		0.2		
	シアン化合物 (mg/ℓ)					0.05	0.05				0.05						
	溶解性鉄含有量 (mg/ℓ)						1										
	窒素含有量 (mg/ℓ)	3号　2 その他　2(1)	20(12)	30(20)	30(20)	12(10)	12	8	8	8	14(8)		7	10	10(8)		2.9(1.5)
	りん含有量 (mg/ℓ)	0.4(0.2)	3(2)	3(2)	3(2)	2(1)	0.8	0.5	0.5	0.8	1.6(1)		0.5	3	5(3)		0.3(0.2)
	6価クロム化合物 (mg/ℓ)													検出されないこと			
	亜鉛含有量 (mg/ℓ)																1
	鉛含有量 (mg/ℓ)													0.1			0.05
	砒素含有量 (mg/ℓ)										0.01						0.07
	ふっ素含有量 (mg/ℓ)						4	1.5	1.5	1.5	7(4.5)			10(7)	7(6)		
	カドミウム含有量 (mg/ℓ)																0.01
	セレン含有量 (mg/ℓ)																0.05
	トリクロロエチレン (mg/ℓ)													0.03			
	ジクロロメタン (mg/ℓ)	0.02													0.04		
	ほう素及びその化合物 (mg/ℓ)														3		
	ダイオキシン類 (pg-TEQ/ℓ)	1											1		2		
	ベンゼン (mg/ℓ)	0.05													0.05		
	トルエン (mg/ℓ)														1.2		
	フェニトロチオン (mg/ℓ)														0.006		
	銅含有量 (mg/ℓ)														1		1(0.6)
	テトラクロロエチレン (mg/ℓ)														0.02		
	1,2-ジクロロエタン (mg/ℓ)														0.012		
	備考	冷却水水温差7度		冷却水水温差7度		冷却水水温差7度	5号、6号及び9号機発電用冷却水水温差7度									冷却水水温差4度	
負荷量	化学的酸素要求量 (kg/日)	3,040	43.2	11.2	10.8	156	2,300				104		3,400	16.6	3,400		594
	生物化学的酸素要求量 (kg/日)										104		3,050	16.6	1,275		
	浮遊物質量 (kg/日)	3,591	47.5	11.2	12.6	156	7,180				134		1,540	16.6	1,700		1,982
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (kg/日)	168	4.3	1.6	1.8	15.6	400						45(鉱油類)				99
	フェノール類含有量 (kg/日)		0.9			1.6	25						15				
	シアン化合物 (kg/日)						30										
	溶解性鉄含有量 (kg/日)						1,300										
	銅含有量 (kg/日)																119
	窒素含有量 (kg/日)	1,290	51.8	32.0	36.0	156	7,300				228		300		680		297
	りん含有量 (kg/日)	138	8.6	3.2	3.6	15.6	350				30		18		255		40
	ふっ素含有量 (kg/日)						1,000				134			11.6	510		

（注）（ ）内は日間平均値